

1. 園の教育目標

共に生きていくために必要なことが形成されていく最も大切な時期の幼児期。幼い子ども達も大人も共に社会の一員として豊かな成長が得られるように願ひ、次の3項目を中心に保育しています。 ①キリスト教保育 ②のびのび保育 ③自由・総合保育

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

・本園の教育方針、指導計画の再確認を行い、内容を検討し、保育内容、施設の改善に取り組む。 ・研修等を通じ、保育教諭の専門性・資質を向上し、保育に反映する。
--

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
教育要領、教育課程、子どもの実態を基に指導計画を作成する。	・幼稚園教育要領、キリスト教教育誌を用いて、学年ごとに年、学期、月、週毎に保育案を作成し、保育に反映させている。また、日々の記録を参考に子どもの実態を把握し週案の作成に反映させ、課題を園長、主任と話し合い、加筆訂正を行う。
保育教諭の資質、教育の向上のために研修等を充実させる。	・各保育教諭は、山口県私立幼稚園協会、岩国市私立幼稚園協会、山口県特別支援教育推進室、岩国市子育て支援、日本基督教団西中国教区、保育業者主催の各研修会に積極的に参加した。 また、ただ参加するだけでなく報告書を作成し、回覧することにより情報、成果の共有化を図った。 ・毎月末の職員会議に加え、各行事や日々の反省や気づきを保育後に話し合い、保育教諭一人一人の資質の向上につなげる。
外部講師による研修	・月1回、広島よりダンスの先生を招いてリズム遊びを行う。 3歳以上児を対象に、クラスごとにリズム遊びを楽しんだ。年長組は4月よりダンスに取り組み9月の運動会で披露した。保護者からも好評で、他のクラス保護者も1年後を楽しみにされている。錦帯橋空港活動外にも出演した。 年長組がダンスを行っている姿は、年少組、年中組の良い刺激となり、曲がかかると一緒に踊っている。次年度もリズム遊びは続ける予定。
子育て支援の充実	・日々の一時預かりを実施し、保護者の急な用事に対応する。7:30から8:30の早朝保育も利用があり、保護者に好評である。 ・2019年2月より0歳児の受け入れを開始する。 ・幼稚園部分(在園児以外)の一時預かりでは、里帰り出産や入園体験、退園児等で、3歳児から5歳児まで預かった。 ・月2回の未就園児親子登園も幼児体操や園庭開放など、計画を立てて行った。6月・12月・2月に行われた親子コンサートは、幼稚園、保育園の保護者にも喜ばれ次年度も計画の予定である。
子どもたちへの安全教育	・年間を通して火災はもちろん、地震、水害、台風、感染症、不審者などの避難訓練を行った。子どもたちは、緊急放送の聞き方や避難の仕方もうまくなっている。 緊急ではない場合も、放送前のチャイムを鳴らすと静かにし、放送を集中して聞くことが出来る。毎月の訓練の成果だと思ふ。 ・防災への取り組み、災害に備えたマニュアルの見直しをするとともに保護者との連携をどのような形とするか、また非常食備蓄も検討する。 ・学期ごとの交通安全教室、年1回の路切事故防止安全教室は外部より講師を派遣していただき、子ども達と共に保育教諭も改めて安全教育の大切さを確認した。

・家庭との連携について	・Facebookの活用により、ホームページよりも少し柔らかい形で、子どもたちの日々の様子や給食献立を伝える事が出来るよう毎日更新することを目標に心がけた。更新出来なかった日もあったが、行事やそれぞれのクラスの子どもの様子は昨年度以上に更新出来た。 今後は、さらに頻度を上げられるようにしていきたい。 そして、ホームページのリニューアルを行い、より園の様子を多くの方々に見ていただけるように工夫したい。 ・月1回、月末にクラスだよりを写真付きで発行した。クラス担任が工夫し、保護者に伝えたいことも記載して1ヶ月の様子を伝える。 ・緊急連絡を行うために「MOBILE」のメールサービスを導入している。山口県からの緊急情報なども今後、保護者へ情報提供していきたい。 ・昨年度より導入した写真外販売(るくみー)は順調で保護者にも好評。次年度も継続して行い、出張サービスも視野に入れる。
・環境整備の充実	・昨年の反省を基に、園庭の遊具の見直しを行った。 大型遊具「プレイロード」を購入し、子どもたちの体力に役立てた。引き続き、園庭遊具の点検を日々行うとともにより安全で整った環境にするために遊具の設置場所や古い樹木の伐採なども検討していきたい。 ・昨年度3月から解体工事を始めたひよこハウスも10月に完成し、近隣の方にお披露目会を行った。また、新ひよこハウス建築に伴い、0歳児の0歳児受け入れを視野に、保育室の配置、環境整備も行った。 ・保育環境充実のためキーボードからローランドの電子ピアノ3台を購入した。(もも組・すみれ組・ひよこハウス) ・園庭に新たに門扉設置を行い園庭をドライブスルー化し、園児送迎の軽減に努めた。 ・1F床が傷みが激しく、業者をお願いしてA-1コーティングを行う。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果、及び今後取り組むべき課題

・教職員は、各クラスの実態の把握、そこから、保育案の作成、実施、反省と一連の流れの中で保育を行うことが出来るよう、心がけた。その中で園児一人一人に必要な援助を研修や園内の協議で分かちあったことを踏まえ、実践するよう努めている。 特に研修面では、小規模園で保育園部分もあることから、決して多い保育教諭の人数ではない中、保育教諭の資質向上も鑑みて特に積極的に外部研修にも参加するようにした。 ・事前の準備をより入念に行うことにより、行事だけでなく、通常の保育もさらに充実させることが可能だと思うので園長以下、副園長、担任、副担任、補佐、それぞれの職務をその都度確認し、今後より密なる連携を図り一層の努力を重ねていきたい。 ・新ひよこハウスが出来上がるまでの7か月間、敷地内の空き部屋を利用して安全に十分配慮しながら行うことが出来た。10月新ひよこハウスへ引っ越し、保護者にも喜ばれ、入園の問い合わせも増え、これを機に2月より0歳児の受け入れを開始した。(今、定員いっぱいまで断っている状況) また、子どもたちの人数も増えているため、継続して昼食時のお手伝いを教会の方に来ていただいた。保育教諭の配置や保育状況を踏まえ、だれでも担当クラス以外のヘルプに入ることが出来るようにこれからも幼稚園とひよこハウスの連携を図り、環境を整えたい。
--

2018年度卒園児(人)		
男子	女子	計
21	8	29

小学校 入学状況(人)							
東小学校	原里市小学校	岩国小学校	川下小学校	侯津小学校	小方小学校	甘日市小学校	計
16	4	4	2	1	1	1	29

2018年度 園児在園状況										
組名	1号利用			2号			3/1現在			合計
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	
たんぽぽ										
たんぽぽ							3	1	4	4
うめ		1	1				4	8	12	13
もも	8	10	18	0	3	3				21
ゆり	4	8	12	2	2	4				16
すみれ	9	4	13	12	4	16				29
計	21	23	44	14	9	23	7	12	19	86

通園状況(人)

岩国市	80
大竹市	3
柳井市	1
甘日市	2

2019年度 園児入園状況(予定)										
組名	1号利用			2号			3号			合計
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	
たんぽぽ							0	2(1)	2(1)	2(1)
たんぽぽ							2(2)	3(1)	5(3)	5(3)
うめ							4(1)	2(1)	6(2)	6(2)
もも	5(5)	5(4)	10(9)	6(1)	9(2)	15(3)				25(12)
ゆり	8(1)	13(3)	21(4)	0	3	3				24(4)
すみれ	3	8	11	3(1)	2	5(1)				16(1)
計	16(6)	26(7)	42(13)	9(2)	14(2)	23(4)	6(3)	7(3)	13(6)	78(23)

() 内は、新入園児数

通園予定(人)

岩国市	75
大竹市	2
柳井市	1

5. 学校関係者評価委員会の意見

年2回開催される学校関係者評価委員会では、ひよこハウス建築に際し多額の支出はあったものの、それを見越した運営がなされた上で、保育内容に関しても、適切な自己評価がなされていると意見をいただいた。 なお、今後取り組むべき課題に関しては積極的に取り組み、こどもたちはもちろん、教職員にとってもよりよい園となるよう激励を受けた。
